



修了式 式辞

今、代表の子に「修了証書」を手渡しました。この修了証書は、皆さん一人一人が一年間しっかり頑張って、その学年の学ぶべきことを学んで身に付けたことを証明するものです。修了式とは、1年間の学びを締めくくる式です。

さて、皆さんは、この1年間学んで、何ができるようになりましたか。新しい漢字を書けるようになった。とか、九九をいえるようになった。とか、授業で学んでできるようになったことは、もちろんいっぱいありますね。

人とかかわりの中で学んで、できるようになったこともありますね。「ありがとう」や「ごめんね」が言えるようになった。他の子のいいところがよく見えるようになった。他の子を優しく思いやるできるようになった。感謝の気持ちを持つことができるようになった。など、すてきな、「できるようになったこと」ですね。

できるようになったことと同じくらい大事なことに、どのようにしてできるようになったかということがあります。「どのようにして」というと、もちろん自分が頑張ったわけですが、他の子の存在が大きいです。他の子の姿を見て、できるようになりたいという思いが沸き上がってきたり、ああすればいいんだとコツをつかんだりしたことがあると思います。また、考えを聞いたり話をする中で、別の考え方に気づいたり考えが深まったりしたと思います。このような「できるようになったこと」「他の子のおかげでできるようになったこと」、4月、令和4年度に向けて整理し大切にしておきましょう。

さて、1年生の皆さん。「ニコニコ笑顔」で爽やかあいさつ、すてきにできるようになったね。

2年生の皆さん。穏やかで優しく、心が「ぼかぼかに」温くなりました。

3年生の皆さん。中学年になって、いろんなことにチャレンジしました。

4年生の皆さん。それぞれの学級が、包み込むような居心地のいい優しいハーモニーでした。

5年生の皆さん。最上級生に向けて力強く前進しました。来年度、頼みます。

6年生の皆さん。中学校や将来へ向けて、無限大の夢を持ってました。

この令和3年度は、コロナで生活に制約がありましたが、皆さんは日常を丁寧に生き、置かれた場所でしっかりと、そしてさわやかに咲きました。

今日で令和3年度が終わります。

指導していただいた先生方、仲良くしてくれた友達、支えてくれた家族、安全を見守って下さる地域の方々、一生懸命学んだ教科書やノートなど、全てに感謝を形で表しましょう。

感 謝

本日の修了式をもちまして本年度の教育活動が終了します。卒業式を明日に控える6年生は明日をもって終了となります。

コロナ禍にあって、子供たちに思う存分の活動をさせられませんでした。その分子供たちは地に足を着けて落ち着いた生活ができたと思います。いうなれば令和3年度は、「華やかな打ち上げ花火はなかったけれど、線香花火の美しさを見直した年」子供たちは日常を丁寧に生き置かれた場所でそれぞれの色でしっかりと花を咲かせました。

これも保護者の皆様の、南小の教育活動への確かな御協力・温かな御支援のおかげと感謝申し上げます。また、2年間の私の学校経営に御理解いただきましたことも重ねて感謝申し上げます。

(校長 上野 明彦)